



「こんにちは赤ちゃん」

…子育て支援センターのおはなしから…

子育て支援センター職員と子育てサポーターは、市内の生後概ね4か月から6か月くらいまでの、赤ちゃんがおられるすべての家庭を訪問しています。

訪問したお宅で、おうちの方のいろいろな子育ての不安や悩みを伺い、子育て支援に関する情報提供などを行うためのもので、お子さんのことで「困ったな」と思われているご家庭に対して、適切なサービスの提供に結びつけるものです。



支援センターの職員が訪問すると、インターホンの音で目が覚めてしまった赤ちゃんは、ご機嫌が悪くなったり、「見慣れない人がきた」ということで不安を感じてしまうこともあります。でも、お母さんたちとお話していると、「ウー」「ウー」と声を出して、まるで「わたしもお話しに入っているよ」というかのようにおしゃべりをはじめます。だっこさせてもらうと、お母さんと違う感じに、泣いてしまわれることもありすが、気持ちよさそうに眠ってしまわれることもあります。そんなとき、「赤ちゃんって本当にかわいいな。」と思えます。

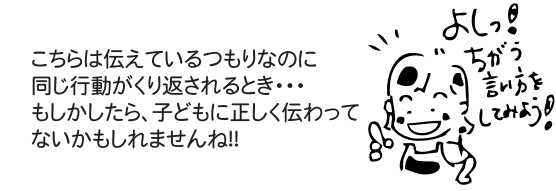
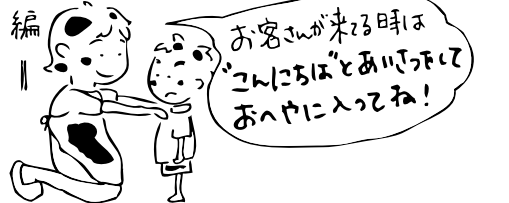
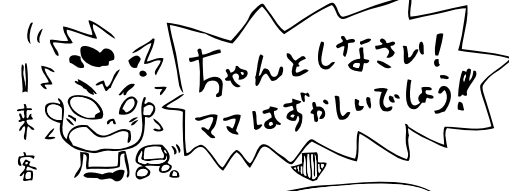
これからも、赤ちゃんの健やかな成長を見守っていきたくと思っています。



子育て真っ最中のお母さん。毎日お疲れ様です。今年度の子育て相談コーナーでは、一生懸命子どもと向き合い、奮闘されているお母さんにエールを送る、シリーズ「ママ…だいじょうぶ!!」をお届けします。

ママ…子育てにエールを送る だいじょうぶ!! その①

子どもに伝わってますか? <具体的にわかりやすく伝える>



こちらは伝えているつもりなのに、同じ行動がくり返されるとき…もしかしたら、子どもに正しく伝わっていないかもしれませんね!!

【出典：神戸少年の町版コモンセンスペアレンティングトレーニング・マニュアル普及版（野口啓示著）<作・イラスト>のぐちふみこ氏（神戸少年の町保育士）】

子育てに疲れていませんか ひとりで悩まないで、いつでもお電話ください。
【相談先】子ども家庭相談課 ☎(25)8517
または、市内各保健センター
滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎077(562)1121

21年度も あなたの元気生活

応援します

① 認知症にならないうちから 安心してお暮らしの地域UVAO

広がっていきます オレンジリングの輪

「認知症という病気（症状）」の名前は多くの方が知るようになりました。しかし、勘違いや偏見はまだまだ残っているように感じます。「認知症」になっても、不安な気持ちを話せる地域・受け止めてもらえる地域づくり、自分の力を活かして生活できる地域づくりを進めていきます。



① 認知症サポーター養成講座

身近なグループで認知症について学習できる機会がキャラバン・メイトによる「認知症サポーター養成講座」です。認知症について前向きに学習したいと思われるグループは地域包括支援センターまでご連絡ください。

（オレンジリングサポーターの証）

② 「元気に現役」の地域UVAO

介護予防に取り組もう

現在、元気に暮らしている方も、生活機能検査の結果で「生活機能の低下」がみられた方も、それぞれの体力に合わせて介護予防に取り組める教室を開催します。あなたの生活の希望を実現するため、からだづくりをしていきます。

【元氣カレッジ】

おおむね65歳以上の方ならどなたでも参加していただけます。体操を中心に、お口の健康づくりやリラックスマスなど、年間通じて取り組みます。（5月からスタートの予定）



《お知らせ》 生活機能評価受診券の送付について

2月に提出いただいた「基本チェックリスト（おたっしや問診）」の結果、生活機能評価（検査）の対象となった方には、「生活機能評価受診券」と「生活機能評価判定報告書用紙」を郵送しますので、健康診査にあわせて検査を受けてください。

生活機能の低下がなかった方は生活機能評価はありません。特定健診や健康診査を受診してください。



地域包括支援センターでは高齢者、ご家族、地域からの相談をお受けしています。

介護、介護予防、健康、福祉、高齢者虐待防止、権利擁護 など
☎(25)0193 ☎(25)0202
市役所別館1階 JR近江今津駅西側

